

たまいたま 川柳



ツツジ

お酒と(い)んじ

願法みつる

御神酒上がらぬ神はない日本の風土ながら、こと芸道修業に対する三重戒の一つに「大酒」がある。また仏教在家信者の五戒にも「不飲酒」がある。そこで仏典には酒による三十六失なるものと聞いて、探してみた。「大般涅槃經・仏説輪轉五道罪福報應經・仏説罪業應報教化地獄經・仏説分別善惡所起經・等々」漢語ばかりで詳細な訳文は判らないが、「喜飲酒醉 得三十六失」によれば、地獄に落ちるから、財を失う・友を失う・天地を恥じず立ち小便をする等に到るまで列挙している。イスラム教では悪魔の飲み物として禁止。ヒンドウー教では好ましくないとされながらも結構酒場があるという。キリスト教ではご存じの通りワインが神との契約の証なのだから正々堂々と飲めると言うことになろうか。有史以来酒が存在したとされているのだから、酒好き日本人の融通無碍な生き方は、なんとも嬉しい。その証左に、酒にかかわる川柳句の何と多いことか。喜怒哀楽を包んで、まさに養老の滝の如くに無尽蔵である。酒を飲んで楽しいときは大いに楽しみ、悲しいときは深く悲しめばよい。八岐大蛇の例もあり、友や財産を失い地獄に落ちるのは勝手である。だが三十六失に謂う天地に恥じるような他人への迷惑行為だけは、慎む努力をしたいものである。尤も、飲めば己が失われてゆくことを自覚していなければ、慎みもあり得ない。反省。

六月号 目次

堅太郎句抄(十七)	願法みつる	表紙	2
巻頭言 お酒ということ			
彩玉集―同人吟	千葉 古丘		6
雲は風景の立役者	願法みつる選		8
雑詠	石田 正則		8
映像川柳	松田重信選		17
さいたまの柳人(34)			16
七七句			
ティータム「あなたの写真館」			
古丘の世界	文・今村 寿子		21
拜啓 川柳様 其の七			21
旅の番外編 三つの涙の三番目	大塚やまぶき		22
交替鑑賞 「言葉の屑籠」	平岡 威		24
初歩添削講座「ひたむき」雑詠	加藤孤太郎		26
題詠 「とうとう」	松田 重信 選		30
「根」	織田 和子 選		26
「除く」	石井 昇 選		26
さいたま五月句会			
インフォメーション			
第49回さいたま川柳大会(案内)			
編集さろん			
句会案内			
表紙(題字・清水 美江 写真・千葉 古丘)			
	表紙		4
	表紙		3
	表紙		40
	表紙		37
	表紙		32

平成25年

6 月号 (No.643)

日川協加盟